

助成対象活動報告シート

助成メニュー：構想づくり活動助成 団体名：鶴舞・千種エリアマネジメント協議会

1 助成を受けて実施した活動

※ 活動の様子がわかる写真(数枚)を入れ込んで記入してください。

【夏祭り(社会実験)】

ツルマイ・チクサ ミズマツリ

2025年8月2日(土)

- ・イオンタウン千種周辺 15:00～21:00
- ・若宮高架下 11:00～16:30



【夏祭りに伴うワークショップ】

CAN MAKE!

2025年7月21日(月・祝)

千石コミュニティセンター 13:00～16:00



鶴舞・千種エリアにおける将来的なエリアマネジメントの構想づくりを目的とし、その実現可能性や課題を検証するための社会実験として、助成金を活用し「ミズマツリ」および関連するワークショップを実施した。ミズマツリは、公共空間を活用し、地域住民・来街者・事業者等が交わる場を創出する社会実験であり、公共空間の使われ方や回遊性、多主体連携のあり方を検証するための実践の場として位置付けている。

今年度は、従来の開催エリアに加え、構想段階で描いてきた回遊動線の有効性を検証するため、若宮大通高架下まで拡大し、複数エリアを回遊する構成とした。千種アーススクエア周辺では地域事業者と連携した出店を行い、高架下では音楽ステージ、モビリティ展示、自衛隊と連携した体験企画などを配置し、異なる性質の空間を連続的に体験できる構成とした。また、事前に地域の子どもたちや大学関係者が関わるワークショップを実施し、装飾づくりを通じて社会実験や空間づくりに主体的に関わる機会を設けた。これにより、子どもたちが「使う側」ではなく「関わる側」として捉えることを促し、まちへの愛着や関心の醸成を図った。



2 活動の成果および目標達成度合い

ミズマツリには幅広い世代が来場し、アンケートでは平均4点を大きく上回る高い満足度を得た。野外での社会実験にもかかわらず81件の回答を回収でき、今後の構想検討に必要な定量データを確保できたことは成果である。初参加の来場者が過半数を占める一方、複数回参加しているリピーターも一定数存在し、新規層の獲得と継続参加の両立という点において、エリアのポテンシャルと今後の展開の可能性を確認することができた。

若宮大通高架下や道路空間を活用した運営では、歩きやすさや安全性に対して高い評価を得た。これまで十分に活用されてこなかった空間も、使い方次第では滞留や交流を生み出す場として機能することを実証できた。アンケートにおいても「日陰で快適」「人が集まり明るく感じた」といった声が多く、ネガティブな先入観を転換できる可能性を示した点は、今後の構想づくりにおいて重要な示唆となった。

さらに、地域事業者、学区、大学、警察・消防など多様な主体が連携して実施したことで、将来的なエリアマネジメントを担う主体の輪郭が具体化し、構想を支える人的ネットワーク形成につながった。

3 活動により見えた課題

若宮大通高架下では、場所によっては「暗い」との意見があり、恒常的な利活用を見据えた場合、照明計画や空間演出などハード・ソフト両面での改善が不可欠であることが明らかとなった。体験型・参加型プログラムは地域交流の促進に有効である一方で、収益構造が脆弱であり、単体での事業継続が困難であることが確認された。今後は、収益性の高い企画との組み合わせや外部資源の活用など、持続可能な運営体制をつくることが課題である。加えて、ワークショップで制作した装飾はあったものの、会場全体としての装飾や演出が十分とは言えず、空間全体の一体感を生み出すまでには至らなかった。その結果、高架下となごみの広場が来場者にとって別々のイベントのように映ってしまい、構想として描く「エリア一体型の回遊空間」をどう可視化するかが今後の大きな課題である。

また、協議会やエリアマネジメント活動自体の認知度については、「ミズマツリで初めて知った」と回答する来場者が多く、継続的な活動主体として認識されるための情報発信と認知度向上に向けた取り組みの必要性が改めて浮き彫りとなった。

4 今後の活動等の展望

今後は、来場者アンケート結果や挙げられた課題を判断材料とし、イベントの継続実施に留まらず、運営体制、担い手、収益性、意思決定の仕組みなど、都市再生推進法人や法人化を見据えた際に不足している要素を整理・可視化することに注力する。

既存の取り組みだけでなく、構想を実装へと進めるための基盤づくりに注力し、ビジョンの更新と具体的な行動計画へとつなげていく。

- ※ 「令和7年度 地域まちづくり支援制度 活動助成募集要項 成長支援・実践活動助成」のP.5「概要・趣旨」およびP.14の「メニュー別視点」を踏まえてご記入ください。
- ※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2ページを超えないように作成してください。
- ※ 用紙の大きさ日本産業規格A4とする。

※ この様式は公開されます。